

第2045号

2023年1月15日
日本共産党根室市議団
根室市宝林町4-203
TEL 23-6023
FAX 24-1684

消防出初式、20歳のつどい(旧成人式)行われる

1月恒例の消防出初式が7日(土)、昨年まで成人式として実施されていた20歳のつどいが8日(日)、それぞれ行文化会館等でわれました。

根室市消防出初式



化会館小ホールに移し、昆布盛太鼓保存会による太鼓演奏を皮切りに屋内行事が開会しました。

表彰では、永年勤続されている消防団員、消防職員らに、勤続年数等に応じて消防庁長官表彰、北海道知事表彰、根室市長表彰などが伝達されました。

(勢ぞろいした消防車両
|| 写真は根室市提供)

消防出初式は、午前10時から屋外行事として温水プール駐車場で観閲、その後分列行進が行われました。当日は晴天で風もなく、例年以上に子ども連れの見学者が多く見受けられました。

屋外行事に引き続き、10時40分から会場を文

今年度の根室市消防本部、消防団の重点目標として、
一 焼死者火災の絶無
一 防災関係機関との連携強化
一 救急・通信体制の高度化
一 地域防災力の向上
が掲げられています。
私たち市民一人一人も、常に「火の用心」を心がけるとともに、防災意識を高めていく必要があります。

根室市 20歳のつどい



昨年までは成人式として実施されていましたが、成人年齢が18歳に引き下げられたことから、今年から名称変更されました。教育長によるお祝いの言葉、市長による贈る言葉の後、20歳代表の高橋叶生さん、東峰梨夢さんが力強く「20歳の誓い」を行いました。
20歳を迎えられたみなさん、おめでとうござい
ます!

12月定例月議会に上程された「子どもの新型コロナウイルス感染症対策緩和を求める意見書」に対する党議員団の対応(棄権)について
同意見書は、「SMIL WAVE(スマイル ウェーブ)北海道支部 北海道子どもの健康を考える会」なる団体から議長宛に提出されたものです。

同意見書が求めている主なものは、①一刻も早い子どもの感染症対策の見直し、②身体的、精神のおよび発達上の問題でマスクをしない(できない)子どもの意思を尊重し差別や圧力が生じることのないよう周知の徹底、③学校等で続けられている昼食時間の「黙食」の緩和です。

①については、科学的知見に基づき、その時々状況に応じて子どもの感染症対策を見直していくことは、私たちも必要であると考えます。また、②についても、ほぼ同意できる内容です。
③はどうでしょうか。
市内の小中学校では給食時での「黙食」を実施しています。同意見書の中でも言われているように、給食を友達と一緒に楽しくおしゃべりしながらいただくことは、食育の観点からも重要なことです。しかしながら、コロナがいまだに猛威をふるっている状況にあつて、給食時の対応をコロナ前に戻すことはハイリスクであると考えます。
学校現場は、校内での感染リスクを限りなくゼロに近づけるために最大限の努力をされており、給食時の「黙食」もその一環といえます。同意見書に賛成することは、こうした学校現場の努力を否定し、現場に対して「黙食」の解除を求めることにつながります。私たちはそうした立場をとりません。以上のことから私たちは同意見書の採択を棄権しました。ちなみに党派も棄権、市政クラブは反対しましたが、他の党派・無所属議員の賛成で同意見書は可決されました。
(鈴木一彦)